

都政新報

発行所 都政新報社

〒160-0023 東京都新宿区

西新宿7-23-1 T Sビル

(総務・読者) 03-5330-8781

(企画広告) 03-5330-8784

(編集) 03-5330-8786

(制作) 03-5330-8786

(出版) 03-5330-8788

(ファクス) 03-5330-8808

購読料 月1,680円(税込)

毎週火・金曜日発行

ただし、祝日は休刊

©都政新報社 2014

号外

詳しくは11日付の都政新報で

都知事選開票

舛添氏 当選確実

細川氏「脱原発」不発



当選確実となり、花束を受け取る舛添氏＝9日午後8時すぎ

9日に実施された都知事選挙は、無所属で元厚生労働大臣の舛添要一氏(65)が当選確実となった。

舛添氏には当初、自民党都連と公明党東京都本部が推薦していたが、選挙戦中盤以降は安倍晋三首相や山口那津男代表を始め、大物弁士が街頭演説応援に駆け付けるなど、党を挙げての支援体制を組み、盤石な組織票を固め、圧勝した。

同選挙には共産・社民推薦の元日弁連会長の宇都宮健児氏(67)、石原慎太郎都知事が押す元航空幕僚長の田母神俊雄氏(65)、小泉純一郎元首相とタッグを組む細川護熙元首相(76)が立候補。

細川氏は「原発即時ゼロ」を単一争点に「小泉劇場」の選挙戦を展開し、注目を集めたが、風は吹かず、敗北した。再挑戦の宇都宮氏は脱原発票が分散してしまい、無党派層への広がりが足りなかった。

投票率は、午後7時半現在で34・1%と前回よりも13ポイント以上も低下。この3年間で3回も都知事選が行われたことや、前日の記録的な大雪も影響したものと見られる。

選挙戦で舛添氏は厚労相時代の実績を強調しながら、東京五輪の成功、防災対策、社会保障対策を訴えてきた。当選を決めた舛添氏は9日夜、「東京を世界一の街にするというところで、福祉も防災も経済も、そして何よりも2020年オリンピック・パラリンピックの成功を着実にやっていきたい」と抱負を語った。舛添氏は12日に初登庁する予定。

来年度予算を審議する第1回定例都議会が19日告示、26日開会と迫っているため、就任直後から予算査定に取り組むことになる。また、ソチ五輪への出張も調整中だという。

敗れた宇都宮氏は「手応えや支援の広がりを肌で感じていた。支援者も今度こそはと一生懸命頑張ってもらったが、結果は残念な思い」と語り、細川氏は「準備期間が短かったこと、脱原発が争点になかなか取り上げられなかった。街頭での熱気と選挙結果との落差が大きかったことに努力不足を痛感した」と述べた。田母神氏は「組織票がない中で、一定の成果があった。」と語った。

舛添氏は福岡県北九州市出身。東大法学部卒。東大助教を経て、舛添政治経済研究所を設立。8年の都知事選に出馬し、84万票を獲得したが、石原慎太郎氏に敗れた。2年の参院選で初当選し、07年から2年余にわたって厚労相を務めた。政権交代後、自民党を離党(除名処分)し、新党改革を立ち上げて代表に就任。13年の参院選には出馬せず、政界から退いていた。

今回の都知事選は、猪瀬前知事が徳洲会から5千万円を受領した問題で、12月24日に引責辞任したため行われた。真冬の都知事選は初めて。前日の大雪で東京の積雪は45年ぶりに27センチを越え、投票所では職員が雪かきに追われた。また、降雪の影響で、奥多摩町や檜原村の投票所で投票開始時刻を遅らせたり、青梅市の投票所で終了時刻を前倒しした。

「東京から日本、世界を変えたい」と出馬
表明する舛添氏 1月14日、都庁で



ラストサンデーの街頭演説には安倍首相や
山口公明党代表も 2日、銀座で



練り歩きで子犬と出会い、目を細める舛添
氏 2日、歩行者天国で



大雪となった選挙戦最終日に、自公幹部と
ともに最後の訴え 8日、浅草で



これまでの都知事選結果 (かっこ内は主な候補者)

代	投票日	当選者	得票数	投票率
1	1947年4月5日	安井誠一郎 (田川大吉郎)	705,040	61.70%
2	1951年4月30日	安井誠一郎 (加藤勘十)	1,433,246	65.20%
3	1955年4月23日	安井誠一郎 (有田八郎)	1,309,481	59.63%
4	1959年4月23日	東 龍太郎 (有田八郎)	1,821,346	70.12%
5	1963年4月17日	東 龍太郎 (阪本勝)	2,298,616	67.74%
6	1967年4月15日	美濃部亮吉 (松下正寿、阿部憲一)	2,200,389	67.49%
7	1971年4月11日	美濃部亮吉 (秦野章)	3,615,299	72.36%
8	1975年4月13日	美濃部亮吉 (石原慎太郎、松下正寿)	2,688,566	67.29%
9	1979年4月8日	鈴木 俊一 (太田薫、麻生良方)	1,900,210	55.16%
10	1983年4月10日	鈴木 俊一 (松岡英夫)	2,355,348	47.96%
11	1987年4月12日	鈴木 俊一 (和田静夫、畑田重夫)	2,128,476	43.19%
12	1991年4月7日	鈴木 俊一 (磯村尚徳、畑田重夫、大原光憲)	2,292,846	51.56%
13	1995年4月9日	青島 幸男 (石原信雄、岩国哲人、大前研一、黒木三郎、上田哲)	1,700,993	50.67%
14	1999年4月11日	石原慎太郎 (鳩山邦夫、舛添要一、明石康、三上満、柿沢弘治)	1,664,558	57.87%
15	2013年4月13日	石原慎太郎 (樋口恵子、若林義春)	3,087,190	44.94%
16	2007年4月8日	石原慎太郎 (浅野史郎、吉田万三、黒川紀章)	2,811,486	54.35%
17	2011年4月10日	石原慎太郎 (東国原英夫、渡邊美樹、小池晃)	2,615,120	57.80%
18	2012年12月16日	猪瀬 直樹 (宇都宮健児、松沢成文、笹川堯)	4,338,936	62.60%
19	2014年2月9日	舛添 要一 (宇都宮健児、細川護熙、田母神俊雄)	—	—